禁転載複製
当日配付
試験終了後公開

B51

「中央職業能力開発協会編」

令和７年度 技能検定
１級 家具製作 学科試験問題
(家具手加工作業)

1. 試験時間　1時間40分
2. 問題数　50題(A群25題、B群25題)
3. 注意事項
   (1) 係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。
   (2) 答案用紙(真偽法と多肢択一法の併用)に検定職種名、作業名、級別、受検番号、氏名を必ず記入してください。
   (3) 係員の指示に従って、問題数を確かめてください。それらに異常がある場合は、黙って手を挙げてください。問題はA群(真偽法)とB群(多肢択一法)とに分かれています。
   (4) 試験開始の合図で始めてください。
   (5) 解答の方法(真偽法と多肢択一法の併用)は次のとおりです。
      イ. A群の問題(真偽法)は、一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。
      ロ. B群の問題(多肢択一法)は、正解と思うものを一つだけ選んで、解答してください。二つ以上に解答した場合は誤答となります。
      ハ. 答案用紙(マークシート用紙)へ解答する際は、答案用紙に記載されている注意事項に従ってください。
      ニ. 答案用紙の解答欄は、A群の問題とB群の問題とでは異なります。所定の解答欄に、試験問題の題数に応じて解答してください。解答欄はA群は50題まで、B群は25題まで解答できるようになっています。
   (6) 電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
   (7) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等は、使用してはいけません。
   (8) 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
   (9) 試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (10) 試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (11) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

［A群（真偽法）］

1　オフィスチェアとは、一般に、折畳み式でズック張りの軽便な椅子のことをいう。

2　ユニット家具とは、規格寸法で作られた構成単位である家具を組み合わせたものをいう。

3　日本産業規格(JIS)によれば、中心線を表す線は、細い破線である。

4　日本産業規格(JIS)によれば、Rは、半径を表す寸法補助記号である。

5　三相誘導電動機(モータ)の定格電圧は、100Vを標準としている。

6　三相誘導電動機(モータ)の回転方向は、入力電源の３本の線のうち、２本を入れ替えても変わらない。

7　有機溶剤の蒸気は、一般に、空気よりも重いので、床面及び床面に近い場所に溜まりやすい。

8　手動送材式の丸のこ盤に幅広のカッタを装着し、前後が突き止まりの溝を加工するときは、縦挽き定規等に、材の後端部と先端部に位置を合わせるストッパを固定するとよい。

9　ベニヤとは、合板を構成する単板のことをいう。

10　木材の圧縮強さは、繊維方向に力を加えたときよりも繊維方向に対して直角に力を加えたときの方が強い。

11　製材したばかりの板材を天然乾燥する場合、厚さが20～25mmのものでは、6か月ぐらいで含水率が10%になる。

12　人工乾燥した木材は、乾燥室から出してすぐ使用するとよい。

13　さしがねの裏目は、表目の$\sqrt{2}$倍の目盛になっている。

14　サンドペーパーは、粒度番号(番手)が大きいものほど粒が大きい。

15　追(大)入れのみは、穂が厚く幅が狭いので、幅の狭い深い穴を掘るのに適している。

16　木工用丸のこ盤の割刃の厚さは、のこ身の厚さと同じでよい。

［A群（真偽法）］

17　木工用丸のこ盤によるひき割り作業用の案内定規は、丸のこの主軸の位置よりも長い方がよい。

18　日本産業規格(JIS)によれば、自動一面かんな盤の大きさは、有効切削幅及び加工できる工作物の最大厚さで表すこととされている。

19　框(かまち)組扉において、見付きの内側に面を通す接ぎ手には、面腰ほぞ接ぎ、上端留めほぞ接ぎ等がある。

20　いも留め接ぎの場合、ちぎりや隅木などの補強をすると接合強度が高くなる。

21　のこ挽(び)き線が曲がる要因の一つは、左右のあさり(歯振り)が同じでないことである。

22　鏡板などの小穴溝や框(かまち)内角の飾り面は、目違い払いをする前に加工しておくとよい。

23　サンディングシーラーは、中塗りに適した塗料である。

24　ニトロセルロースラッカー塗料は、硬化剤が必要である。

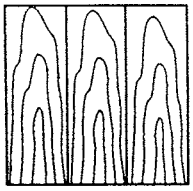
25　扉のマグネットキャッチは、吊り元にできるだけ近い位置で取り付ける方がよい。

［B群（多肢択一法）］

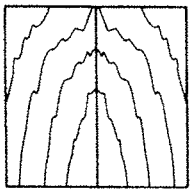
1　読書用の机と椅子との間の差尺の目安として、適切なものはどれか。

イ　座高の1/2
ロ　座高の1/3
ハ　座高の1/4
ニ　座高の1/5

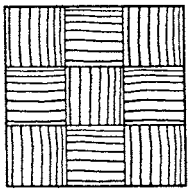
2　突き板の寄貼り方法とその名称の組合せとして、誤っているものはどれか。



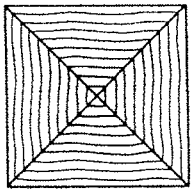
イ　スリップマッチ貼り



ロ　ブックマッチ貼り



ハ　ダイヤモンド貼り



ニ　枡（ます）貼り

3　日本産業規格(JIS)によれば、見える部分の外形線に使用する線種として、正しいものはどれか。

イ　細い一点鎖線
ロ　細い二点鎖線
ハ　太い破線
ニ　太い実線

4　日本産業規格(JIS)の建築製図通則によれば、製図の推奨尺度として、誤っているものはどれか。

イ　1：5
ロ　1：10
ハ　1：20
ニ　1：40

5　電気抵抗に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　導線が短いものよりも長いものの方が抵抗は大きい。
ロ　導線が太いものよりも細いものの方が抵抗は大きい。
ハ　同一の抵抗を直列又は並列に接続した場合、それぞれの合成抵抗は異なる。
ニ　導線の径と長さが同一の場合、導線が鉄よりも銅の方が抵抗は大きい。

［B群（多肢択一法）］

6　丸テーブル甲板の周囲に面取りする場合の電動工具として、適切なものはどれか。

イ　トリマ
ロ　ジグソー
ハ　丸のこ
ニ　ドリル

7　騒音規制法関係法令において、特定施設に含まれないものはどれか。なお、(　　)内は原動機の定格出力を示す。

イ　エアコンプレッサ(10kW)
ロ　木工用帯のこ盤(2.25kW)
ハ　ワイドベルトサンダ(10kW)
ニ　木工用丸のこ盤(2.25kW)

8　文中の(　　)内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

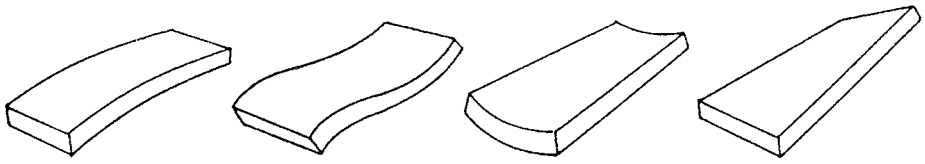
労働安全衛生法関係法令によれば、研削といしを取り替えた場合は、(　　)分間以上の試運転(空運転)をしなければならないとされている。

イ　2
ロ　3
ハ　5
ニ　10

9　木ねじの保持力に関する記述として、正しいものはどれか。

イ　木口面は、板目面よりも保持力が大きい。
ロ　軟らかい木材は、硬い木材よりも保持力が大きい。
ハ　長さが同じ場合、一般に、細い木ねじよりも太い木ねじの方が保持力が大きい。
ニ　生材は、乾燥材よりも保持力が大きい。

10　板材の変形とその名称の組合せとして、誤っているものはどれか。



弓反り　イ　　うねり反り　ロ　　幅(樋)反り　ハ　　盆反り　ニ

11　木材の乾燥に関する記述として、誤っているものはどれか。

イ　他の乾燥速度に影響する条件が一定の場合、湿度を高くするほど乾燥が速い。
ロ　厚みが厚い材は、厚みが薄い材よりも乾燥が遅い。
ハ　他の乾燥速度に影響する条件が一定の場合、温度を高くするほど乾燥が速い。
ニ　一般に、比重の大きい材は、比重が小さい材よりも乾燥が遅い。

［B群（多肢択一法）］

12　木材を人工乾燥する方法として、使用されていないものはどれか。
　イ　冷凍乾燥
　ロ　低温除湿乾燥
　ハ　高周波乾燥
　ニ　蒸気乾燥

13　マイクロメータの使い方に関する記述として、正しいものはどれか。
　イ　のこ身の厚さを測定する。
　ロ　回転軸の振れ具合を測定する。
　ハ　刃物の回転速度を測定する。
　ニ　エアタッカの圧力を測定する。

14　かんなに関する記述として、正しいものはどれか。
　イ　南京かんなは、曲面を削るのに使用される。
　ロ　外丸かんなは、丸棒を作るのに使用される。
　ハ　反り台かんなは、溝を作るのに使用される。
　ニ　面取りかんなは、平面を削るのに使用される。

15　木くぎ、竹くぎ及び埋めだぼを切り払うために使用するくぎきりのこぎりの特徴として、適切でないものはどれか。
　イ　横挽き歯である。
　ロ　薄手ののこ身である。
　ハ　歯形がばら目である。
　ニ　歯にあさりがある。

16　昇降丸のこ盤のほぞ取り装置によるほぞの縦挽きに関する記述として、適切でないものはどれか。
　イ　2か所を同時に挽くときの丸のこは、同種、同径のものを使用する。
　ロ　使用しないテーブル側の丸のこは、取り外しておく。
　ハ　定規板の微調整は、ハンドルの止めねじを軽く止めて合わせ、微調整後に固く締める。
　ニ　定盤の高さは、ほぞ幅に差がある加工材でも、一定にする。

17　自動一面かんな盤で、加工材が斜めに送り出される場合、正常に出るように機械を調整する箇所として、適切でないものはどれか。
　イ　下部ローラの調整
　ロ　刃の回転速度の調整
　ハ　上部送込みローラの調整
　ニ　上部送出しローラの調整

［B群（多肢択一法）］

18　帯のこ盤で、板材を曲線挽き加工する場合、曲線挽きの最小曲率半径を決定する条件として、適切でないものはどれか。

イ　のこ身幅

ロ　のこ身厚

ハ　あさり幅

ニ　のこ車径

19　角のみ盤の刃物の取付けに関する記述として、誤っているものはどれか。

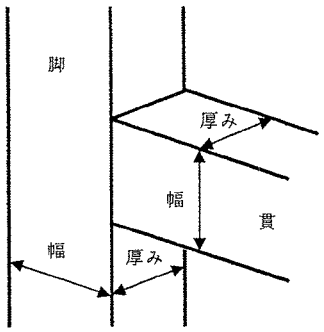
イ　箱のみは、テーブル面に垂直に取り付ける。

ロ　箱のみは、案内定規面に平行にする。

ハ　きりの先は、箱のみの先から1mm程度出す。

ニ　箱のみのくず排出口は、送風口側に向ける。

20　次図のような二つの部材を二方胴付きの平ほぞで接合する場合の記述として、適切でないものはどれか。



イ　ほぞの厚みは、脚の厚みの1/3程度にする。

ロ　止めほぞの長さは、脚の幅の1/3程度にする。

ハ　ほぞの幅は、貫の幅と同じにする。

ニ　止めほぞのほぞ穴の深さは、ほぞの長さよりも1～2mm深くする。

21　文中の(　　)内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。

角材をT字形に接合し、面一で見付けにかまぼこ面をとるときには、一般に、(　　)が使われる。

イ　斜め小根ほぞ接ぎ

ロ　馬乗りほぞ接ぎ

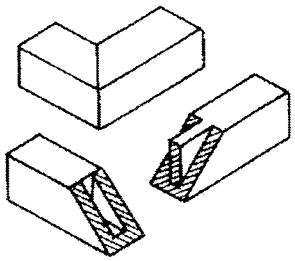
ハ　剣留めほぞ接ぎ

ニ　面腰ほぞ接ぎ

［B群（多肢択一法）］

22　次図の接合方法の名称として、正しいものはどれか。

イ　留め形相欠き接ぎ
ロ　留め形3枚接ぎ
ハ　上端留め形3枚接ぎ
ニ　留め形隠し3枚接ぎ



23　一般に、最も速く塗膜が硬化する塗装はどれか。

イ　ニトロセルロースラッカー塗料
ロ　ポリエステル樹脂塗料
ハ　セラックニス
ニ　UV硬化塗料

24　文中の(　　)内に当てはまる語句として、正しいものはどれか。

テーブルの幕板にむく材の甲板を取り付けるときには、(　　)とよい。

イ　接着剤を使い、幕板から木ねじ止めとする
ロ　接着剤を使い、幕板にだぼ止めとする
ハ　幕板と甲板とを接着剤で直接接着する
ニ　駒止め金具を使い、木ねじ締めとする

25　家具の接着及び組立てに関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　接着剤は、ほぞの胴付き面にも塗布する。
ロ　角度やねじれの調整は、接着剤が硬化した後に行う。
ハ　組立て後に余分な接着剤を除去する。
ニ　接着剤の塗布後の堆積時間に注意する。